



2002年03月12日

フォルクスワーゲン ニュービートル カップ ジャパン2002開幕第一戦 筑波サーキットにて開催

フォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社(代表取締役社長:梅野 勉)がサポートする、JAF(日本自動車連盟)公認のナンバー付き車両で行なわれる輸入車初のワンメイク レース、“フォルクスワーゲン ニュービートル カップ ジャパン 2002”(以下:NBCJ 2002)の開幕第一戦が、来る3月17日(日)筑波サーキット(所在地:茨城県つくば市)にて開催され、今年も年5戦、全国の有名サーキットを転戦するレース シリーズがスタートします。

今年で三年目を迎えるニュービートル カップは、ここ数年盛り上がりを見せているJAF(日本自動車連盟)公認のナンバー付き車両「NR-Aカテゴリー」の良き見本となるよう、レース レギュレーションをはじめとする運営全体について毎年見直しを行って参りました。特に本年から導入される活動の目玉としては、参加者資格の上限撤廃による「エキスパート クラス」「クラブマン クラス」の2カテゴリー制が導入されるほか、レースの醍醐味をさらに高める装備レギュレーションに関する変更が行われ、参加者、観戦者ともにニュービートル カップを楽しめる内容となっています。

新たな取り組みとして今年から導入される2カテゴリー制では、「参加資格の上限」が削除されました。その代わりに「エキスパート クラス」「クラブマン クラス」が創設され、レース経験豊かなドライバーからビギナー ドライバーまでの幅広いエントリーが、イコール コンディションのクルマで混走。これによって、お互いにテクニックを競い合うのは勿論のこと、ビギナー ドライバーは、上級者のレース スキルを実戦を通して体験する事が可能となります。また車両面では、V・T・A(フォルクスワーゲントロフィー事務局)公認のレース専用ショックアブソーバー、大型フロント ブレーキローター、バケットシートなどが追加変更されます。 ¹

NBCJ 2002の開幕第一戦を飾る筑波サーキットは、高低差の少ないコンパクトなコース レイアウトが特長であり、マシンのパワー差だけではラップタイムに差が出にくい、日本でも有数の超テクニカル コースと言われています。従ってレースともなれば、サイド バイ サイドの白熱した展開は必至となり、レーサーにとっては一時も気を抜く事ができない、厳しいながらもドライバー、観客共にエキサイティングで見応えのあるコース設定となっています。

またVGJのインターネット ホームページ <http://www.vwj.co.jp/index.html> では、ニュービートル カップ専用のアイコンがシリーズ期間中表示され、いつでも簡単にレース情報などをご覧頂けます。是非、ご覧ください。

1 第2戦目からの摘要となります。

回数	日 時	開催地	サーキット
第1戦	3月17日(日:予選+決勝)	茨城:筑波	筑波サーキット
第2戦	5月18日(土:予選)、5月19日(日:決勝)	山口:美祢	セントラルパークMINEサーキット
第3戦	7月6日(土:予選)、7月7日(日:決勝)	三重:鈴鹿	鈴鹿サーキット
第4戦	8月18日(日:予選+決勝)	茨城:筑波	筑波サーキット
第5戦	9月14日(土:予選+決勝)	静岡:御殿場	富士スピードウェイ